NEC

Express5800/GT110e-S

スタートアップガイド

2012年 7月 初版

＊ 8 5 6 - 1 2 9 4 1 1 - 3 0 2 - 0 0 ＊

本機を取り扱う前に本書をよくお読みください。
本書は大切に保管してください。

安全に、正しくご使用になるための情報を記載してます。本書は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。本機をご使用になる前に、本書およびユーザーズガイドを必ずお読みください(ユーザーズガイドは添付のDVDに格納しています)。また、本文中の 名称については、ユーザーズガイドの「各部の名称と機能」を参照してください。

本製品の利用目的

本製品は、高性能コンピュータの平和利用に関する日本政府の指導対象となっています。ご使用になるときは、以下についてご注意願います。

1. 不法侵入、盗難等の危険がない場所に設置してください。
2. パスワード等により、適切にアクセス管理してください。
3. 大量破壊兵器、ミサイルの開発、またはそれらの製造等に関して、不正にアクセスされるおそれがあるときは、事前に弊社相談窓口までご連絡ください。
4. 不正使用が発覚したときは、すみやかに弊社相談窓口までご連絡ください。
   弊社相談窓口：ファーストコンタクトセンター　電話番号：03-3455-5800

安全にかかわる表示について

本製品を安全にお使いいただくために、本書の指示に従って取り扱ってください。
本書には装置のどこが危険か、どのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。
本書および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

⚠警告	**人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。**
⚠注意	**火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。**

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

記号	名称	説明	例
△	**注意の喚起**	この記号は危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	例：感電注意
⃠	**行為の禁止**	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	例：分解禁止
●	**行為の強制**	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	例：プラグを抜く

（本書での表示例）

注意を促す記号　危険に対する注意の内容　危険の程度を表す用語

⚠注意

指定以外のコンセントに差し込まない
電源は指定された電圧で、アース付きのコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。

本書およびラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

感電のおそれがあることを示します。	指がはさまれてけがをするおそれがあることを示します。
高温による傷害を負うおそれがあることを示します。	けがをするおそれがあることを示します。
爆発または破裂のおそれがあることを示します。	レーザー光による失明のおそれがあることを示します。
発煙または発火のおそれがあることを示します。	特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止

本機を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。	ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。
指定された場所以外には触らないでください。感電や火傷などの傷害のおそれがあります。	水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。
火気に近づけないでください。発火するおそれがあります。	特定しない一般的な禁止を示します。

行為の強制

装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。	特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
必ず接地してください。感電や火災のおそれがあります。	

安全上のご注意

全般的な注意事項

⚠警告

人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない
本機は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本機を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。

煙や異臭、異音がしたまま使用しない
万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。

針金や金属片を差し込まない
通気孔やデバイスベイ、光ディスクドライブのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。

⚠注意

日本国外で使用しない
本機は、日本国内用として製造・販売しています。日本国外では使用できません。本機を日本国外で使用すると火災や感電の原因となります。

本機内に水や異物を入れない
本機内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

電源・電源コードに関する注意事項

⚠警告

ぬれた手で電源プラグを持たない
ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

アース線をガス管につながない
アース線は絶対にガス管につながないでください。ガス爆発の原因になります。

⚠注意

指定以外のコンセントに差し込まない
電源は指定された電圧で、アース付きのコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本機の電源仕様に合っていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。
クラス0Iのアース線付きACコードセットを使用する場合は、接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

たこ足配線にしない
コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。

電源ケーブルを持って引き抜かない
電源ケーブルを抜くときはコネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。ケーブル部分を持って引っ張ったりコネクタ部分に無理な力を加えたりするとケーブル部分が破損し、火災や感電の原因となります。

中途半端に差し込まない
電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

指定以外の電源コードを使わない
本機に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りください。

- コード部分を引っ張らない。
- 電源コードをはさまない。
- 電源コードを折り曲げない。
- 電源コードに薬品類をかけない。
- 電源コードをねじらない。
- 電源コードの上にものを載せない。
- 電源コードを踏まない。
- 電源コードを改造・加工・修復しない。
- 電源コードを束ねたまま使わない。
- 電源コードをステープラなどで固定しない。
- 損傷した電源コードを使わない。(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。)

添付の電源コードを他の装置や用途に使用しない
添付の電源コードは本機に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。

設置・装置の移動・保管・接続に関する注意事項

⚠注意

フロントベゼルやエアダクトに手をかけて持ち上げない
本機の持ち運びは底面をしっかりと持ってください。フロントベゼルやエアダクトに手をかけて持ち上げないでください。フロントベゼルやエアダクトが外れ、装置が破損するばかりでなく、落下してけがをするおそれがあります。

指定以外の場所に設置・保管しない
本機を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。

- ほこりの多い場所。
- 給湯器のそばなど湿気の多い場所。
- 直射日光が当たる場所。
- 不安定な場所。

安全上のご注意　- つづき -

⚠注意

腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない
腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

電源コードを接続したままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない
本機内蔵用オプションやインタフェースケーブルなどの取り付け/取り外しは本機の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源コードを接続したまま本機内の部品やケーブル、コネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。

指定以外のインタフェースケーブルを使用しない
インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する本機やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- 破損したケーブルを使用しない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。

お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

⚠警告

自分で分解・修理・改造はしない
本機の説明書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。

光ディスクドライブの内部をのぞかない
光ディスクドライブはレーザーを使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります(レーザー光は目に見えません)。

リチウムバッテリやニッケル水素バッテリ、リチウムイオンバッテリを取り外さない
本機内部にはリチウムバッテリやニッケル水素バッテリもしくは、リチウムイオンバッテリが取り付けられています(オプションデバイスの中にはリチウムバッテリやニッケル水素バッテリもしくは、リチウムイオンバッテリを搭載したものもあります)。バッテリを取り外さないでください。バッテリは火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。また、バッテリの寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社に連絡してください。

電源プラグを差し込んだまま取り扱わない
お手入れや本機内蔵用オプションの取り付け/取り外し、装置内ケーブルの取り付け/取り外しは、本機の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても、電源コードを接続したまま装置内の部品に触ると感電するおそれがあります。また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

⚠注意

高温注意
本機の電源をOFFにした直後は、内蔵型のハードディスクドライブなどをはじめ装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け/取り外しを行ってください。

中途半端に取り付けない
電源ケーブルやインタフェースケーブル、ボードは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。

雷がなったら触らない
雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて本機には触れないでください。また、機器の接続や取り外しも行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。

運用中の注意事項

⚠注意

ペットを近づけない
本機にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が本機内部に入って火災や感電の原因となります。

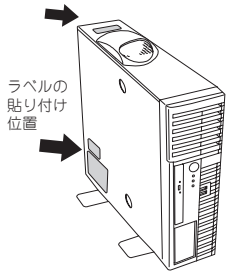
装置の上にものを載せない(装置を縦置きにした場合)
本機が倒れてけがや周辺の家財に損害を与えるおそれがあります。

5kg以上のものを載せない(装置を横置きにした場合)
本機を横置きにした場合、上部に搭載可能なものの重量は5kg未満です。5kg以上のものを載せないでください。装置が変形して故障の原因となるおそれがあります。

光ディスクドライブのトレーを引き出したまま放置しない
引き出したトレーの間からほこりが入り誤動作を起こすおそれがあります。また、トレーにぶつかりけがをするおそれがあります。

巻き込み注意
本機の動作中は背面にある冷却用ファンの部分に手や髪の毛を近づけないでください。手をはさまれたり、髪の毛が巻き込まれたりしてけがをするおそれがあります。

警告ラベル

危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルがあります。これは本製品を取り扱う上で、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです(ラベルをはがしたり、汚したりしないでください)。もし、このラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、または汚れているなどして判読できないときは販売店にご連絡ください。
ラベルの内容をよく読んで警告事項を守ってください。

製品の譲渡と廃棄

本機または本機に添付されているものを第三者に譲渡(または売却)するとき、または廃棄するときは、次の注意事項を守ってください。

- **本機について**
  第三者へ譲渡するときは、添付されている説明書一式を一緒にお渡しください。

ハードディスクドライブ内の大切なデータを完全に消去していますか？OS上からは見えなくなっていてもハードディスクドライブ上に残っていることがあります。第三者へのデータ漏洩を防止するために、市販のツールや保守サービス(有償)を利用して、お客様の責任において消去してください。

- **添付のソフトウェアについて**
  添付のソフトウェアを第三者に譲渡するときは、次の注意事項を守ってください。
  - 添付されているすべてのものを譲渡し、譲渡した側は、それらの複製物を持たないでください。
  - 各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たしてください。
  - 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、アンインストールしてから譲渡してください。

製品の譲渡と廃棄　- つづき -

- **消耗品・本機の廃棄について**
  本機、ハードディスクドライブ、オプションボード、バッテリなどの廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。なお、添付の電源コードにつきましても、他の製品への誤用を防ぐため、本機と一緒に廃棄してください。本機に搭載されているバッテリ(電池)の廃棄(および交換)については、お買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。

航空・海上輸送に関する注意

本機と一部のオプションは、リチウム金属電池またはリチウムイオン電池を使っています。リチウム電池の輸送は、航空・海上輸送規制が適用されます。本機またはオプションを航空機、船舶などで輸送するときは、お買い求めの販売店または保守サービス会社へお問い合わせください。

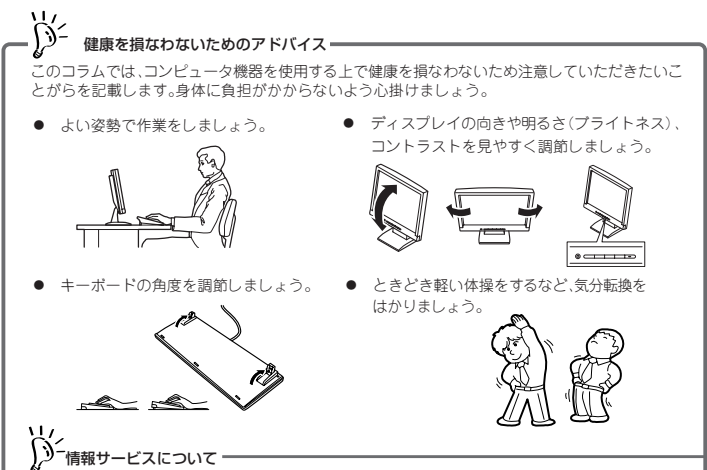
健康を損なわないためのアドバイス

このコラムでは、コンピュータ機器を使用する上で健康を損なわないため注意していただきたいことがらを記載します。身体に負担がかからないよう心掛けましょう。

- よい姿勢で作業をしましょう。

- ディスプレイの向きや明るさ(ブライトネス)、コントラストを見やすく調節しましょう。

- キーボードの角度を調節しましょう。

- ときどき軽い体操をするなど、気分転換をはかりましょう。

情報サービスについて

このコラムでは、Express5800シリーズに関する情報サービスについてお知らせします。

- **http://www.nec.co.jp/**
  製品情報やサポート情報など、本製品に関する最新情報を掲載しています。
  ぜひお立ち寄りください。
- **http://club.express.nec.co.jp**
  弊社では、製品ご購入のお客様に「お客様登録」をご案内しております。インターネットよりユーザー登録してください。
- **http://www.fielding.nec.co.jp**
  NECフィールディング(株)のホームページです。メンテナンス、ソリューション、用品、施設工事などの情報をご紹介しています。

また、Express5800シリーズに関するご質問・ご相談は「ファーストコンタクトセンター」でお受けしています。(電話番号のかけまちがいが増えております。番号をよくお確かめの上、おかけください。)

ファーストコンタクトセンター
TEL. 03-3455-5800(代表)

受付時間 ／ 9:00～12:00、13:00～17:00　月曜日～金曜日(祝祭日を除く)

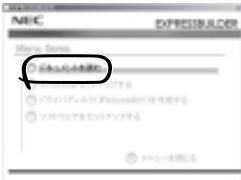
箱を開けてから本機が使えるようになるまでの手順を説明します。このスタートアップガイドに従って作業してください。

ユーザーズガイドについて

ユーザーズガイドは「EXPRESSBUILDER」の中に格納されています。次の手順に従って参照してください。

① **Windowsがインストールされているコンピュータの電源をONにします。**

② **手順①でONにしたコンピュータへ、添付の「EXPRESSBUILDER」をセットします。自動的にメニューが現れます。**

③ **メニューから「ドキュメントを読む」をクリックします。**

Step 1 添付品を確認する

梱包箱を開け、次の添付品が揃っていることを確認してください。

- 本体×1
- EXPRESSBUILDERパッケージ×1
- スタートアップガイド(本書)×1
- 保証書×1*1
- キーボード×1
- ネジセット(502) ×1*2
- ネジセット(505) ×2*3
- SATAケーブル×2*3
- 電源コード×1
- マウス×1
- エアダクト×1
- ゴム足×4
- セキュリティキー×2*4

重要

- **添付品は、なくさないよう大切に保管してください。**
- **セットモデルとBTO(工場組込み出荷)製品は、「組込み製品・添付品リスト」も併せてご確認ください。**

*1 梱包箱に貼り付けられています。
*2 オプションの内蔵バックアップ装置をBTOで購入されたときは本機に実装されます。
*3 ハードディスクドライブの構成により数量が異なります。
*4 2.5型ディスクモデルの場合のみ本機に添付されます。

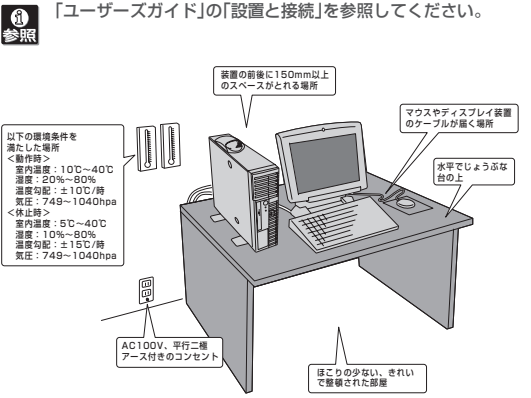
Step 2 内蔵オプションを取り付ける

内蔵オプションを取り付けます(オプションを購入していないときや、BTOで購入されたお客様はStep3へ進んでください)。

参照 「ユーザーズガイド」の「内蔵オプションの取り付け」、およびオプションに添付の説明書を参照してください。

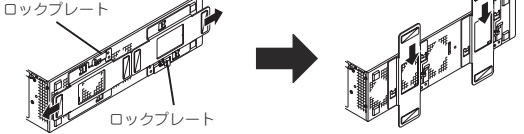
Step 3 適切な場所に設置する

本機の設置場所を決めます。

参照 「ユーザーズガイド」の「設置と接続」を参照してください。

縦置きの場合

装置上面に冷却用のエアダクトを取り付け、ロックプレートを浮かせてスタビライザをいったん取り外し、図のように取り付け直してください。詳細は「ユーザーズガイド」の「設置の準備」を参照してください。

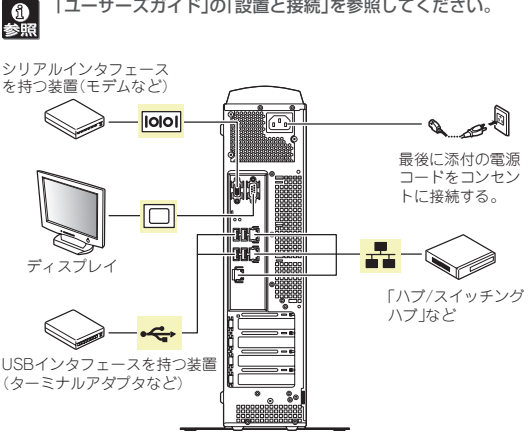
ロックプレート

ロックプレート

横置きの場合

装置右側面に冷却用のエアダクトを取り付け、底面にゴム足を取り付けてください。詳細は「ユーザーズガイド」の「設置の準備」を参照してください。

Step 4 ケーブルを接続する

ケーブルを本機に接続します。

参照 「ユーザーズガイド」の「設置と接続」を参照してください。

Step 5 電源をONにする／OSをセットアップする

前面のPOWERスイッチを押して電源をONにします。BTOでOSがプリインストールされているときは、電源ONの後、OSのセットアップが始まります。

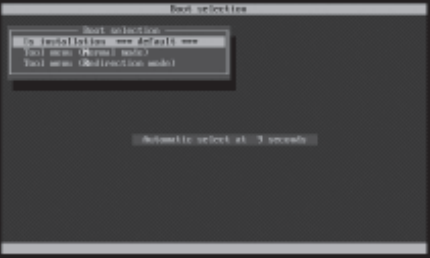
重要 電源ON後、ディスプレイにエラーメッセージが表示されたり、ビープ音が何度も鳴ったりしたときは、メッセージの内容やビープ音の鳴り方をメモして保守サービス会社に連絡してください。

① **ディスプレイの電源をONにした後、前面のPOWERスイッチを押します。**
ディスプレイに「NEC」ロゴが表示されます。

② **本機の構成やシステムの用途に応じて、BIOSをセットアップします。**
オプションのUPS(無停電電源装置)を接続している場合や管理ソフトウェアとの連携をとる場合にシステムBIOSの設定を変更します(通常は出荷時の状態で問題ありません)。
設定を変更するために、起動後、すぐに<F2>キーを押してください。BIOSセットアップユーティリティ(SETUP)が起動します。

参照 「ユーザーズガイド」の「システムBIOSのセットアップ」を参照してください。

③ **OSがプリインストールされているときは、OSが起動し、セットアップが始まります。 手順⑦に進んでください。**

④ **OSがインストールされていないとき、または再インストールのときは、EXPRESSBUILDERを使ってインストールします。EXPRESSBUILDERを本機にセットし、再起動(<Ctrl>,<Alt>, <Delete>キーを同時に押します)させてください。EXPRESSBUILDERが起動し、ブートメニューが表示されます。**

ヒント 「EXPRESSBUILDER組込みキット」をBTOで購入されると、POSTから EXPRESSBUILDERを起動することができます。「NEC」ロゴが表示されているとき、<F3>キーを押してください。

⑤ **ブートメニューから「Os installation」を選択します。**
しばらくすると、トップメニューが表示されます。

⑥ **トップメニューの「セットアップする」を選択します。**

⑦ **以降、インストレーションガイドに従って、OSのセットアップを進めます。**
「インストレーションガイド(Windows編)」を参照してください。

ヒント インストレーションガイドは、ユーザーズガイドと同様にEXPRESSBUILDERに格納されています。

Windows サービスパックについて

本機へサービスパックを適用するときは、「インストレーションガイド(Windows編)」に記載の「サービスパックの対応」を参照してください。

Step 6 バンドルソフトウェアのインストール

本機には、次のようなソフトウェアがバンドルされています。
必要に応じて、これらのソフトウェアをインストールしてください。

ヒント 「管理PC」は、一般的なクライアントコンピュータを使って構築することができます。(本機で代替することも可能です)

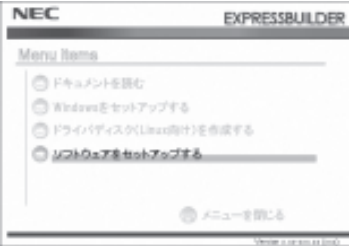
名　称	インストール先	概　要
ESMPRO/ServerAgent *	本機	本機の状態を監視することができます
ESMPRO/ServerAgent Extension *	本機	本機をリモート管理できます
エクスプレス通報サービス *	本機	本機が故障したときの情報を保守センターへ通報することができます
ExpressUpdate Agent *	本機	本機のファームウェア、ソフトウェアなどのバージョン管理と更新ができます
Universal RAID Utility(URU) *	本機	RAID コントローラの管理、監視ができます
装置情報収集ユーティリティ	本機	保守用の各種情報を採取することができます
BMC Configuration *	本機	BMC を設定することができます
情報提供ツール (NEC からのお知らせ)	本機	本製品をご利用いただく上で役に立つ情報を提供します
ESMPRO/ServerManager	管理PC	ESMPRO/ServerAgent などと連携し、本機を管理することができます

* Linux版は対象外

バンドルソフトウェアは、オートランメニューを使ってインストールできます。
次の手順に従ってください。

① **インストール先が「本機」となっているものをインストールするときは、本機にインストールされたWindowsを起動します。「管理PC」のときは、任意のPCにインストールされたWindowsを起動します。**

② **Administrator権限のあるユーザーアカウントでログインします。**

③ **EXPRESSBUILDERをセットします。**
オートラン機能が働き、次のようなメニューが起動します。

④ **メニューの「ソフトウェアをセットアップする」をクリックします。**

⑤ **インストールしたいバンドルソフトウェアを選択し、クリックします。**

⑥ **各バンドルソフトウェアのインストーラなどが起動しますので、「インストレーションガイド(Windows編)」などに従ってインストールを進めてください。**

Step 7 お客様登録をする

弊社では、製品ご購入のお客様に「お客様登録」をお勧めしております。次のWeb サイトからご購入品の登録をしていただくと、お問い合わせサービスなどを受けることができます。

http://club.express.nec.co.jp

以上で、Express5800シリーズのセットアップは完了です。

トラブルが起きたときは

「メンテナンスガイド」には、トラブルシューティング、障害情報の採取方法、保守サービス会社の一覧などが記載されています。こちらを参照してトラブルを解決してください。「メンテナンスガイド」は、「ユーザーズガイド」とともにEXPRESSBUILDERへ格納されています。

Express5800シリーズに関するご質問・ご相談は「ファーストコンタクトセンター」でお受けしています。(電話番号のかけまちがいが増えております。番号をよくお確かめの上、おかけください。)

ファーストコンタクトセンター　TEL. 03-3455-5800(代表)

受付時間 ／ 9:00～12:00、13:00～17:00　月曜日～金曜日(祝祭日を除く)

商標について

EXPRESSBUILDER、ESMPROは日本電気株式会社の登録商標です。MicrosoftおよびWindows、Windows Server、Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

このマニュアルは再生紙を使用しています。